

補助金評価シート

区分	重点 (重点以外)	補助根拠	法令補助 ・ その他補助	開始時期	令和5年4月1日	終期	令和8年3月31日
補助事業名	(公財)新潟市芸術文化振興財団運営費補助金						
[下段に制度概要を記載]	本財団事務局の管理的事業費のうち、事務局長ほか3名の人件費を対象に補助を行う。						
款・項・目	総務費・総務管理費・文化振興費						
所属等	文化スポーツ部 文化政策課 管理グループ 電話025-226-2560						

年 度	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)	
予算額等の推移	予算(千円)	24,323	24,831	25,829
	決算(千円)	24,323	24,831	25,829
補助率	100.0%	100.0%	100.0%	
目 標	市民の芸術文化活動の振興を図り、自主的、自発的な市民文化の創造に寄与する。			
	<目標が数値でない場合の評価方法> 事業報告書等により、入館者数や事業実施数、各指定管理施設の管理運営状況などを総合的に判断し、本市の文化振興に寄与しているか評価する。			
目標に対する達成度(指標)	達成率100%以上			
	達成率80%以上			
	達成率50%以上			
	達成率50%未満			
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください	主催・共催事業や助成金交付事業を実施するほか、指定管理施設の運営を通して市民に多様な分野における質の高い創造的な芸術文化事業を提供している。 また、舞台芸術を担う子どもや若者の育成を図っており、本市の文化振興及び魅力向上に寄与した。 (参考) 施設入館者数 ・市民芸術文化会館：271,362人 ・音楽文化会館：112,486人 ・歴史博物館：78,781人 ・旧小澤家住宅：13,809人	主催・共催事業や助成金交付事業を実施するほか、指定管理施設の運営を通して市民に多様な分野における質の高い創造的な芸術文化事業を提供している。 また、舞台芸術を担う子どもや若者の育成を図っており、本市の文化振興及び魅力向上に寄与した。 (参考) 施設入館者数 ・市民芸術文化会館：291,975人 ・音楽文化会館：9,048人 ・歴史博物館：89,442人 ・旧小澤家住宅：14,872人 ※音楽文化会館は大規模改修工事に伴い、令和6年4月1か月分のみ計上	主催・共催事業や助成金交付事業を実施するほか、指定管理施設の運営を通して市民に多様な分野における質の高い創造的な芸術文化事業を提供している。 また、舞台芸術を担う子どもや若者の育成を図っており、本市の文化振興及び魅力向上に寄与した。
補助事業者による情報の公表	(公財)新潟市芸術文化振興財団ホームページ			

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	○
		b. 補助率は1/2以内か	×	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
		c. 補助額が5万円以上になっているか	○	g. 目標は数値化されているか	×
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	○
×になった項目に対する今後の取組	<a~fにおける取組> b: 本財団の事業は、本市における芸術文化の発展に大きく貢献しており、継続的運営に必要な人員を確保する必要があるため、1/2以上の補助はやむを得ないと考える。				
	<g~hにおける取組> g: 文化活動の振興については、その性質上入場者数や収益などの数値では測れない側面があり、目標を数値化することは困難であると考え。				
目標未達成の原因分析	<期間(3年)を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか>				
① 拡充・改善 (補助率、補助額、補助対象経費、その他) ② 継続 ③ 廃止					
①~③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 市民の自主的な文化活動を支援するとともに、質の高い舞台芸術に触れる機会を提供するなど本市の文化振興に大いに寄与しており、継続すべきと考える。					